

過去の採用者の研究テーマ（参考 2025 年度）

《 化学 》

- ・生化学アプローチによる新奇ナノカーボン材料の開発
- ・人工光合成による太陽光エネルギーの光資源化
- ・油水界面における DNA 挙動解明のために動的界面張力測定法の確立
- ・不斉 C-H 官能基化反応を革新する in silico スクリーニング法の開発と応用
- ・反芳香環で置換されたアゾ化合物の創出と機能探索
- ・C-アルキルフラボノイドの網羅的合成および化学構造と生物活性の系統解析
- ・多孔性グラフェン材料合成制御と分子論的理解の深化
- ・求核剤の α 位付加とホウ素官能基の選択的導入による二官能基化反応の創出
- ・新しいイオン/電子伝導触媒の創出に向けた金属クラスター集積体の創製
- ・気合と根性で実現するタンパク質液液相分離反応場シミュレーター
- ・夾雑系でも有効なキラリティーセンシング法の開発
- ・高活性ラジカル種の有機触媒的調製法の開拓
- ・分子シートを用いた高再現性・超高感度な抗体価評価法の開発と PEG 代替ポリマーの評価
- ・循環型材料創出のための超臨界二酸化炭素媒体中での化学修飾法の構築
- ・バイオフィルム形成阻害天然物の全合成に基づく擬天然型抗菌薬の創製研究
- ・分子間相互作用の制御に基づく有機トリポルミネセンス極性結晶の設計と開発
- ・マンガンイオンの光触媒作用を利用する硝酸イオンの多電子還元反応
- ・不斉電荷移動錯体の創製を基軸としたタンデム型電解 C-C 結合形成法の開発

《 食品科学 》

- ・がん組織で活性化する SNO 化パピンをを用いた高選択的薬物送達システムの構築
- ・腸内細菌が合成する疑似ビタミン B12 が生体に及ぼす影響
- ・糖尿病の個別化予防を目指した甘味受容体遺伝子の多型と DNA メチル化の統合指標の構築
- ・カロテノイドの細胞内輸送タンパク質探索ツールの開発
- ・チョウザメ類の排卵卵を用いた高品質キャビアの開発
- ・食品由来シアル酸による腸内細菌を介した石灰化制御機構の解析

《 芸術学/デザイン学 》

- ・濱田庄司のモダンデザイン観—民藝・デザインの「無地」研究の一環として
- ・芸術イベントのレガシー形成の実態と今日的課題：小規模地方自治体におけるアートマネジメントと地域づくりの融合に向けた実証的研究
- ・自然言語処理により心理的不確実性を可視化し省察を促すデザイン教育支援手法の開発
- ・浜口ミホの住宅設計における女性解放思想とその展開に関する研究

《 体育学/スポーツ科学 》

- ・運動模倣薬を用いた「安静下での運動療法」による骨折治療法の開発
- ・運動による全身エネルギー代謝亢進の神経分子基盤としての Arcadlin の可能性
- ・骨格筋の可塑性を制御する筋幹細胞の新たな役割と応用
- ・変形性膝関節症の痛みに対する「関節外」アプローチ
- ・高密度表面筋電図を用いた姿勢制御における足部内在筋機能の解明

- 後天的遅筋化に伴う遅筋様リン脂質クオリティへの変化は遅筋機能獲得に必須か？
- 筋力トレーニングを利用した四肢-体幹の協調運動の適応機序解明
- 運動時の血圧を制御する骨格筋の感覚神経の機能解明 -高血圧未病ケアへのアプローチ-

《 経営学 》

- 公共部門の女性の昇進格差に関する実証分析 — 多角的なアプローチによる複合的要因の解明
- 美濃和紙文化を題材としたアートインフュージョン効果の検証
- サービス従事者が顧客の不当要求に応諾するメカニズムの探求
- 消費者のアルゴリズム忌避に関する実証的研究-組織要因と AI 受容メカニズム の検証-

※ 2024 年度以前の助成金採択者の研究テーマについては下記のアドレスからご覧いただけます。
<https://tobe-maki.or.jp/result/#sec2>